



使いやすくなったんやぞ！ 仁愛女子高校停留所～福井鉄道～

● 撮影 / 清水



● 4 ページ 関連記事

活動報告

2月19日 ROBA 2月例会・理事会
3月6日 先進地視察（愛知県豊田市）
3月11日～23日
ドイツ電車写真展（福武線・越前武生駅）
3月16日 第4回福井・環境ミーツング
3月19日 3月例会・理事会

今後の予定

3月25日（火） 福井市地域生活交通活性化会議
3月29日（土）
ドイツ電車お披露目式（福武線・北府駅）
4月7日（月）～11日（金）
ドイツ電車写真展（県庁1Fホール）（予定）
4月12日（土） ドイツ電車試乗会（予定）

ゆうじんの部屋 書籍紹介

通信と交通のユニバーサルサービス

寺田一薫・中村彰宏 勁草書房 3500円＋税

買い物難民、限界集落など、同種の生活パターンをとる人口の一定の集積がないと、市場ではサービスが提供されず、生活に困難をきたしたり、社会へのアクセスから疎外されるという問題が生じる。特に人口減少社会（特にクルマ社会ではクルマを持たない少数派の人口密度は既に小さくなっている）では、少数派や僻地へのナショナルミニマムの供給について、考え直すことが重要になる。

この本は、コミュニティバスなどの交通と、電話などの通信について、ユニバーサルサービスが必要な理由、ユニバーサルサービスが供給されるための制度、代替措置がある場合の市民の支払い意志額など、基礎的な問題の考え方が網羅されている。ユニバーサルサービスを提供することが著しく高価になる場合は転居という代替案もあるのだが、そこまでは言及されていない。

東海市会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

地域公共交通メールマガジン

NPO 法人の前身となる市民団体 ROBA は 2001 年に設立した。(2005 年 NPO 法人化)当初は ROBA の名称の語源となる RO (路面電車)と BA (バス)について、いかに利便性を高め市民に利用してもらうかを研究や提言をする他、2003 年には「のりのりマップ」(現在 10 版販売中)という福井全县を網羅するバス路線マップの制作・販売をスタートさせた。バスマップを制作したのは、交通事業者マターの路線図ではなく利用者目線のマップが必要なのと、いくらバスの利用を呼びかけても路線もバス停の位置も市民が知らないのではバスには乗れないからである。

活動を継続していくと、公共交通の活性化、過度にクルマに頼らない社会には自転車が必要不可欠なことに気づかされた。自転車の利用が進むと公共交通の利用方法も変化をする。2008 年自転車マップ(りんりんマップ)を制作。人(歩行)も含めた『ホ・ジ・ロ・バ』[歩行・自転車・路面電車(電車)・バス]という標語をつくり、過度にクルマに頼らない人にやさしいまちづくりの啓発を行っている。ところが現実には自転車の走行空間の環境は極めて悪い。車道は道が狭くそのうえ路側帯も狭い。自転車通行可の歩道も狭く自転車の走行に適さない道路が多い。

ところで、私が生活する地域(福井県福井市社南地区)は世帯数が多く若い世帯比率も高い。ロードサイド店舗も多く、クルマの交通量が急激に増えている。平成 30 年に福井国体の開催が決定し、地域内にメイン会場となる運動公園があるため環状道路の整備(県道 650m、市道 1,450m)が平成 13 年から始まった。そこで地域は立ち上がった。せっかく整備するのであれば私たちの希望を取り入れてもらおうと考え、環状西線環境整備対策協議会(会長は私自身)を発足して行政と話し合いの場を持った。とにかく、歩道が狭く(1.0m~1.5m)歩道には電柱や標識があり歩行者及び自転車の走行空間(区間の多くは自転車通行可)は極めて悪い状態である。段差改善のバリアフリー化と歩道を拡幅するという整備ではあるがこのまま電柱が残存したのでは歩行空間は十分改善されないままである。ポイントは電柱の民地への移設の承諾の取り付けである。行政の話によると電柱民地移設は過去には例がないと。ましてや協議会を持ち、行政と連携して整備を進めるといふ事例は少ないとのことである。地権者や店舗との移設交渉はかなり難航しているが、地域と行政、北陸電力、N T T が連携して説得交渉を行っている。2.1 kmの短い区間ながら、歩行者・自転車の行き場がないこの道路をなんとか安心して歩行・走行できる環境にしたいと考えている。



ドイツ・シュトゥットガルト市電 4月に運行開始

岸本 雅行

福武線のイベント用車両として元ドイツ・シュトゥットガルト市電が導入され、4月から運行開始の予定です。この車両は1965年製で、シュトゥットガルト市電として活躍した後、1990年に高知県の土佐電鉄が購入、10年間ほど運行した後は休車状態が続いていました。福武線の利用促進に繋げるために福井県が購入し、福井市内の田原町～赤十字前の軌道区間を土・日限定で運行されます。

この運行に先立ち、3月11日から23日まで越前武生駅構内で写真展が開催されています。この写真展は「高知の電車とまちを愛する会」が撮影したものを借り受け、福井鉄道とROBAの連携により実現したものです。写真展といっても、十数枚の写真を貼り付けただけのものですが、ドイツ時代と高知時代の走行風景が比較できて興味深い展示となっています。ただ残念なのは、改札の外側のホーム寄りに展示されているため、改札を通過して乗車する際にしか近くで見ることができないことです。せっかくの展示なので、待合室の周辺など乗車前にゆっくり鑑賞できる場所に展示してほしかったと思います。待合室はバスの乗客も利用するので、より多くの方に見ていただき宣伝にもなるはずですが。

3月29日には北府駅構内でお披露目式があり、4月12日の「ふくい春まつり越前時代行列」に合わせて運行が開始されると聞いていますが、ただ走らせるだけでは集客には繋がらないと思います。みんなが乗りたくなるような斬新な仕掛けが必要です。ドイツから来た車両なので、ドイツビール・ワインを飲んでドイツ料理を味わえるレストラン電車とか、ドイツ関係者に楽しいトークをしてもらいながら走るカルチャー電車とかいろんなアイデアが浮かびます。ROBAとしても積極的にアイデアを提案してはどうでしょうか。低床路面電車FUKURAMの導入で街の景観も大きく変わり、路面電車が高く評価されるようになってきました。今回のシュトゥットガルト市電の導入により、福武線のさらなる活性化を期待したいものです。



越前武生駅での写真展（3月15日撮影）

仁愛女子高校停留所改修完了！



↑ 改修工事前



工事の途中の状況

11月に着工されていた福井鉄道福武線仁愛女子高校停留所の改修工事が完了し、去る2月22日にオープニング式典が仁愛女子高校駐車場にて開催されました。

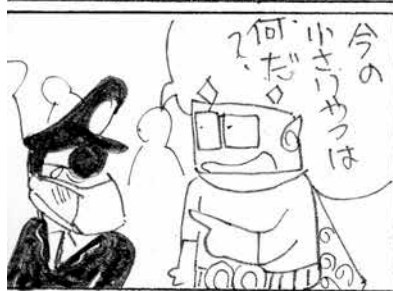
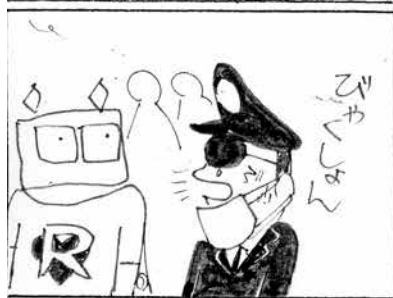
改修前、停留所は幅が79cmしかなく、安全柵も上屋もありませんでした。そのため、雨の日に停留所で傘をさすと車道側にも軌道側にもはみ出し、危険な停留所として、仁愛女子高校生徒会や福井市福井鉄道福武線サポート団体協議会から改善の要望が出されていました。県と福井市では、福井鉄道とえちぜん鉄道の相互乗入れに先立ち、第1弾として仁愛女子高校停留所の改修を行っていました。これで安心ですね。

第2弾として、公園口停留所の改修が計画されています。



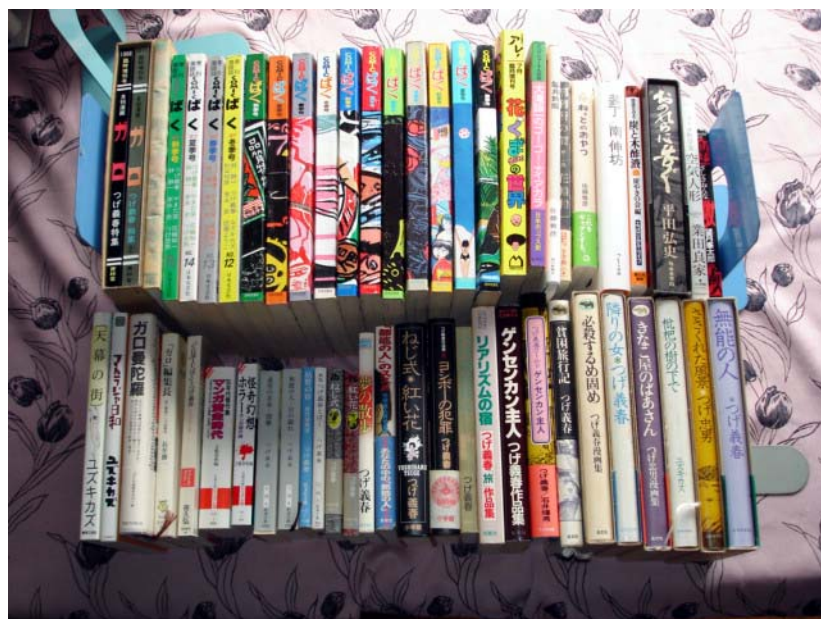
オープニング式典では生徒から運転士に花束が手渡された

快速!! 路面ライダー



作 / 漆寄 耕次

照ちゃんの気になる風景 Part 38



上記の写真は10年ぐらい前に、ガロ系の雑誌(主につげ義春)を処分するときに撮影したものです。今考えると処分しなければよかったなあと思う書籍もたくさんありますが・・・。

芸術新潮1月号は「大特集デビュー60周年～つげ義春～マンガ表現の開拓者」冒頭、美術史家の山下裕二氏は「日本の美術史上で一番好きな作家は誰ですか」との質問に「つげ義春」と答えている。溜飲を下げるとはこのことか！思わず「そうだ、そうだ俺もそうだ。応挙も若冲もすごいがやっぱりつげ義春だー」と叫んでしまった。

2007年には、4コマの作者漆寄氏と「長八の宿」のモデルトとなった伊豆の旅館「三光荘」に宿泊したことがある。

つげ氏は25年以上休筆・隠棲状態にある。マンガもすばらしいが、貧困旅行のエッセイや写真も味わい深い。「赤い花」「海辺の情景」「ほんやら洞のべんさん」がおすすめ。

編集後記・・・編集委員より一言

内田(発行責任者)

「地域公共交通コーディネーターとして中部運輸局に記事を投稿したので掲載しました。地域活動における問題の一端です。」

林(変集長)

「PCをセブン・オフィス2013に入れ替えました、慣れるまでたいへんだー！」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>